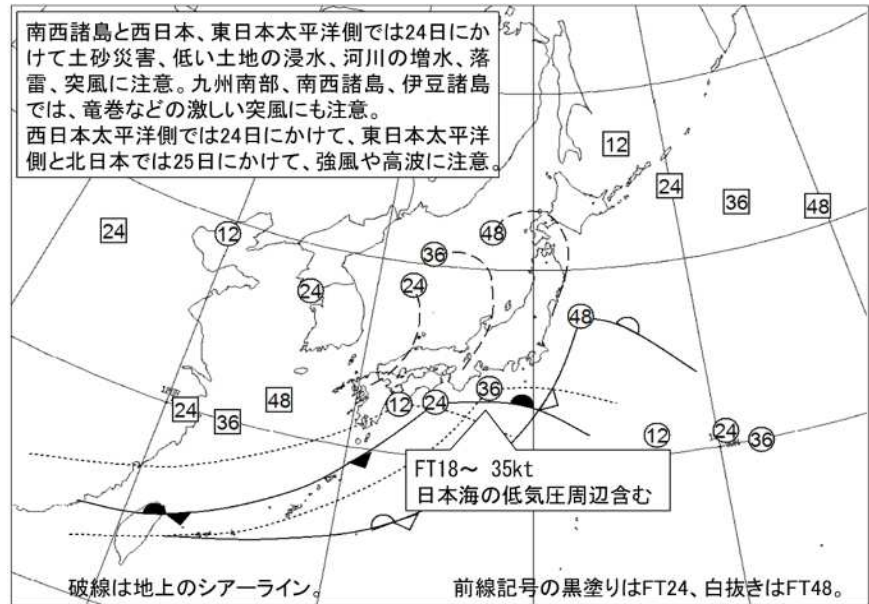


## 1. 実況上の着目点

- ① 前線が華南から種子島・屋久島付近を通って日本の東にのびており、前線上の日本の東には低気圧があって東南東進。
- ② 500hPa5760m 付近のトラフの接近に伴い、23日9時には前線上の九州南部付近に新たに低気圧が発生。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、南西諸島では大気の状態が非常に不安定となっており、対流雲が発達して活発に発雷し、海上では非常に激しい雨を解析。
- ③ 華北を500hPa5580m 付近のトラフが南東進。



主要じょう乱解説図

- ④ オホーツク海に中心を持つ高気圧と①や②の低気圧や前線の間で気圧の傾きがやや大きくなり、海上ではやや強い風が吹き、東日本や西日本の太平洋側では波が高くなっている所がある。

## 2. 主要じょう乱の予想根拠伊豆諸島と解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、日本の東を東南東進し、25日には南鳥島近海へ進んで不明瞭になる。
- ② 1項②の低気圧は、24日は西日本から東日本の南岸を東北東に進み、25日朝には三陸沖へ進む。この低気圧や前線に向かって、850hPa  $\theta$  e330K 以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、南西諸島と西日本、東日本太平洋側では24日にかけて雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨の降る所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。九州南部、南西諸島、伊豆諸島では竜巻などの激しい突風にも注意。
- ③ 1項③のトラフが切離しながら東南東進し、24日朝には朝鮮半島付近へ進む。対応して、24日朝までに日本海西部で低気圧が発生して北東進し、低気圧から南へのびる地上のシアーラインが25日にかけて西日本から北日本を通過。低気圧に向かって流れ込む下層暖湿気の影響でシアーライン近傍では大気の状態が不安定となるため、西日本から北日本では、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 2項②や2項③の低気圧周辺では、気圧の傾きが大きくなるため、西日本から北日本では25日にかけて、強い風が吹き、波が高くなる所がある。西日本太平洋側では24日にかけて、東日本太平洋側と北日本では25日にかけて、強風や高波に注意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

## 4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

- ①大雨ポテンシャル(18時からの24時間)：近畿150、東海130、伊豆諸島・四国120、九州南部・沖縄100mm。
- ②波浪(明日まで)：北海道・東北・関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国・九州北部3m。

## 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。